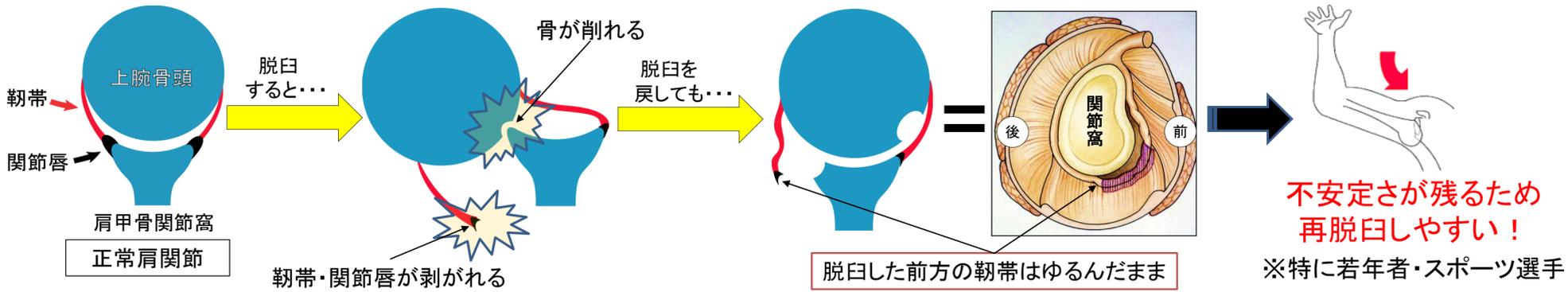
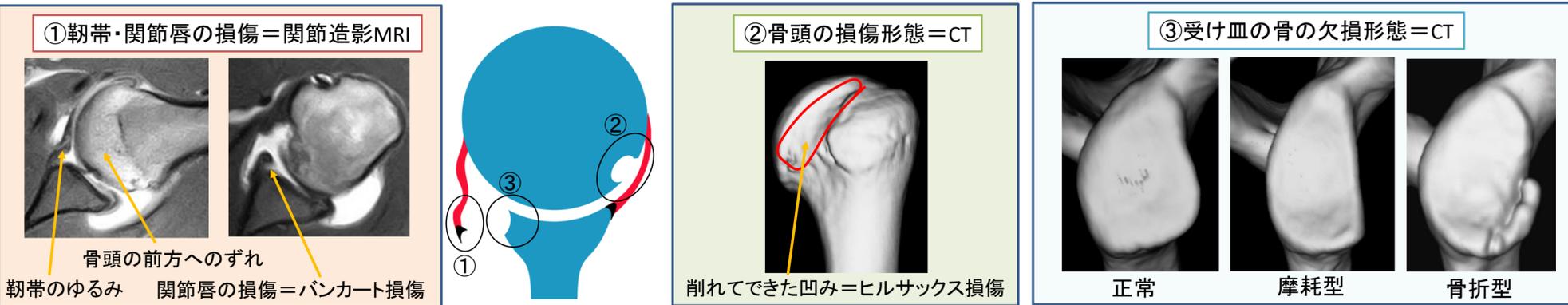


## Q1. どうして脱臼・亜脱臼を繰り返すの？



## Q2. 手術前のCTやMRI検査で何がわかるの？

- CT: 主に骨の形態、損傷を確認
- 関節造影MRI: レントゲンやCTでは描出されない靭帯や関節唇の損傷を確認 (注: 検査前に造影剤を関節内に注射して詳細に評価します)

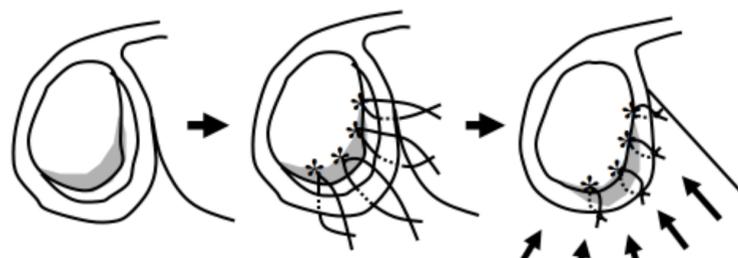


## Q3. 手術はどのように行っているの？

- すべて関節鏡を用いて行っております。
- 傷の大きさ＝通常1cm弱×3か所
- 手術時間＝1時間弱



### 〈術式〉鏡視下関節唇修復(バンカート)術



糸のついたビス(アンカー)を骨に打ち込んで  
損傷した関節唇・ゆるんだ靭帯を緊張をかけて修復  
※ 継続したい競技種目や骨の損傷程度により、さらに追加の処置を行うことがあります



## Q4. どのような麻酔をしているの？

- 経験豊富な麻酔科医の管理のもと、全身麻酔に神経ブロックを併用して麻酔を行っています。  
全身麻酔＝手術室に向かう前に病棟で点滴を留置します。  
手術室で点滴の管から薬をいれて眠った状態で手術を行います。  
全身麻酔は深い眠りのため、口の中にチューブをいれて人工的に呼吸の補助を行います。
- 腕神経ブロック＝手術執刀前に首の付け根から、肩や腕にいく神経に注射をします。(右側写真参照)  
ブロックを行うことで、術後12時間程度ほとんど痛みを感じることはありません。



## Q4. 入院期間は？

- 通常、2泊3日の入院で、手術翌日に退院可能となります。(※ 1週間～2週間の入院期間延長も相談にて可能です。)

### 初日(術前日)

装具合わせ、手術側わきの剃毛  
入浴、リハビリでの術前評価

### 2日目(手術当日)

手術  
術後3時間で安静解除後、歩行・飲食開始

### 3日目(手術翌日)

朝:リハビリ、消毒、装具装着指導  
退院

## Q5. 退院後の生活は？装具をいつまで装着するの？

- 更衣・入浴: 退院直後から自分自身で可能となります。(正しい方法を入院中に指導します)
- リハビリ: 退院後すぐに開始します。
- 通学: 退院後すぐに許可しています。
- 抜糸: 術後10日目頃に外来で行います。(※抜糸前は傷口の汚染に注意してください)
- 装具: 約2~3週間継続します。(右側写真参照: 通常は衣服上に装着します)
- 運転: 装具がはずれてから可能となります。



## Q6. 仕事復帰や競技復帰の時期は？

- 仕事に関して  
仕事は、デスクワークであれば、退院後すぐに許可しております。軽作業の場合は術後2~3ヶ月、重労働の場合は、術後5~6ヶ月頃から可能となる見込みです。
- 競技復帰に関して  
術後約1ヶ月でジョギングや体幹・下半身の運動を開始します。  
手術をした組織の修復には約3ヶ月を要するため、肩に負担のかかる競技やトレーニングの開始は術後約3ヶ月頃となります。  
競技完全復帰時期はスポーツ種目や個人の回復具合により異なりますが、術後5~6ヶ月頃を目標とします。
- 通院について  
原則、術後2年間は診察を継続し、肩の状態を定期的に確認します。  
リハビリも競技完全復帰まで継続的に行います。